

○基金支部の資産の保管について

〔昭和63年8月19日地基経第41号〕
各支部事務長あて 経理課長

第1次改正 平成元年3月29日

第2次改正 平成17年4月1日

第3次改正 平成20年5月26日

基金支部の資産の保管については、「地方公務員災害補償基金の資産の保管について（昭和46年3月31日付け理事長通知）」によるところですが、上記理事長通知を今回別途改正したことに伴い、償却資産（耐用年数が1年以上で、かつ、取得価額が10万円以上の器具及び備品をいう。以下同じ。）については、下記のとおり取り扱うこととしましたので通知します。（第1次改正・一部 平成元年4月1日適用、第2次改正・一部

記

- 1 20万円以上の償却資産（償却資産で取得価額が20万円以上のものをいう。以下同じ。）
 - (1) 20万円以上の償却資産については、本部において償却資産台帳に記載し管理するものであること。
 - (2) 支部においては、償却資産保管台帳（別紙様式1）を備え、所要事項を記入するものであること。
 - (3) 本部は、償却資産台帳に記載された事項を毎年度決算終了後、該当支部に通知するものであること。
 - (4) 使用に供されなくなった20万円以上の償却資産については、本部に協議すること。
- 2 一括償却資産（償却資産で取得価額が10万円以上20万円未満のものをいう。以下同じ。）
 - (1) 一括償却資産については、本部において一括償却資産台帳に記載し管理するものであること。
 - (2) 支部においては、一括償却資産保管台帳（別紙様式2）を備え、所要事項を記入するものであること。また、一括償却資産保管台帳は、取得した年度終了後に本部に報告するものであること。

別紙様式 1 (第 2 次改正・一部、第 3 次改正・一部)

償 却 資 産 保 管 台 帳

品 目				
受入年月日			保管場所	
耐 用 年 数	取得価額 (A)			
年 (年 月 ~ 年 月)	円			
償 却 年 度	償 却 額		帳簿価額 (A) - (B)	備 考
	当 期	累 計 (B)		
年度	円	円	円	

(注) 1 この台帳は、有形固定資産のうち、耐用年数が1年以上で、かつ、その取得価額が20万円以上のものについて、その品目別に作成し、所要事項を、そのつど、記入するものとする。(第1次改正・一部、第2次改正・一部)

2 「耐用年数」の欄には、地方公務員災害補償基金財務規程第37条第3項の規定による耐用年数を記入するものとする。

3 償却額の欄には、次のとおり記入するものとする。

(1) 平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産の場合

① 「当期」の欄には、「備考」の欄において、「取得価額」の100分の90に相当する金額を「耐用年数」で除して得た金額(以下「平年度の償却額」という。)を算出・表示した後、その金額を記入するものとする。ただし、年度の中で購入した場合は、「備考」の欄において、平年度の償却額に、その経過月数を12で除して得た割合を乗じて得た金額を算出した後、その金額を最初の償却年度の「当期」の欄に記入するものとする。

② 「累計」の欄に記入する金額が「取得価額」の100分の95に相当する金額を超えることとなる年度においては、平年度の償却額からその超える部分の金額を控除した金額を当該年度の「当期」の欄に記入するものとする。

③ 「累計」の欄に記入する金額が「取得価額」の100分の95に相当する金額に達した年度の翌年度以降においては、「備考」の欄において、「取得価額」の100分の5に相当する金額から1円を控除した金額に相当する金額を5で除して得た金額を算出・表示した後、その金額を記入するものとする。

(2) 平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の場合

① 「当期」の欄には、「備考」の欄において、「取得価額」から1円を控除した金額に相当する金額を「耐用年数」で除して得た金額(以下「平年度の償却額」という。)を算出・表示した後、その金額を記入するものとする。ただし、年度の中で購入した場合は、「備考」の欄において、平年度の償却額に、その経過月数を12で除して得た割合を乗じて得た金額を算出した後、その金額を最初の償却年度の「当期」の欄に記入するものとする。

② 「累計」の欄に記入する金額が「取得価額」から1円を控除した金額に相当する金額を超えることとなる年度においては、平年度の償却額からその超える部分の金額を控除した金額を当該年度の「当期」の欄に記入するものとする。(第3次改正・一部)

別紙様式2 (第2次改正・追加)

一 括 償 却 資 産 保 管 台 帳

取得年度 平成 年度

保管場所 (支部名)	品 名	取得年月日	取得価額 円	備 考 (取得先)					
					一括償却額 (A) ÷ 3	円 0			
					償却年度	年度	年度	年度	
					償却額	当 期	円 0	円 0	円 0
						累 計 (B)	0	0	0
					帳簿価額 (償却未済額)	0	0	0	
_____支部 計		(A)			(A)-(B)				

- (注) 1 この台帳は、有形固定資産のうち、耐用年数が1年以上で、かつ、取得価額が10万円以上20万円未満のものについて、取得年度別に作成し、所要事項を、そのつど、記入するものとする。
- 2 当該年度に取得したものを、当該年度末に記入するものとする。
- 3 償却年度は、3年とし、残存価額は、0円とするものとする。
- 4 「償却額」の「当期」の欄には、当該年度末に「一括償却額」欄で算出した金額（円未満切り捨て）を記入するものとする。ただし、端数は、最終償却年度の「当期」の欄に加えて記入するものとする。